

LOVE



パステル

せかいの

端から端まで

パステルで埋め尽くそう

わたしのカラー

あなたのカラー

こころのカラー

いろとりどり

夜に死んだ世界は

朝に蘇る

いろを取り戻す

愛を取り戻す

「わたしの豊かさを、あなたにあげましょう」

「あなたの豊かさを、ほんの少しだけ私に教えてください」

死

死

真っ黒なやみ。

私が消滅すれば、愛を感じる主体は存在しないのだろうな。

主観でしか、認識出来ない、脆いもの。

愛と平和のために、人を殺す、それは「戦争」

「ラブアンドピース」という化け物が、人の命を貪り食らう。

餓鬼。愛と平和という名の餓鬼。

鬼。人は愛の為に鬼になる。

畜生。人は愛のために平和を破壊するけものとなる。

地球で愛を咆哮する。

銃弾で人を殺す。

憎しみの雄叫びを上げる。

「オオオオオオオオオオオオオオ」

愛、殺す。

「オオオオオオオオオオオオオオ」

へいわ、ころす。

「オオオオオオオオオオオオオオ」

ラヴ、ころす。

「オオオオオオオオオオオオオオ」

ピース・・・。

「オオオオオオオオオオオオオオ」

善意の銃弾がハートを貫く。

血まみれの真っ赤なハート。それが愛のシンボル。

理想論

人のしんぞうを貫くのは
いつだって高らかに掲げられた理想論だと思うのは
私だけだろうか。

世界の人々のために、掲げられた「罪」というレッテルを
皆を守る為に、掲げられた「罪」というレッテルを
平和にするためにと、掲げられた「罪」というレッテルを

一発の銃弾にして貼り付けて殺す。

愛しています。

あなたを、殺します。

人は無限の動物達のシカバネの上に立つ王である。
家畜の頂点に立つバケモノがひとのいのちをむさぼりくらう。

直接的に、そして、間接的に。

ひとという名のバケモノは
みずからを常にきれいなことばでかざりたてる
無数の命を奪い生き続ける、お前よ

手を見てもろ

殺したものの、恨み、痛み、辛さを想像してみろ。

食事のときに、手を見てもろ

食卓に並べられたそれは、お前が殺したいのちだ。

お前のその手で、やったんだ。

愛を、具体的な形にするならば、
お前が今、考えた事、それが愛だ。

凄く複雑で、凄く難しいココロの問題などではない。
愛の為に殺したその行為こそが、愛の意味そのものだ。

だあいすき

だあいすき

ぱぱとママ、だあいすき

でもぱぱとママは、わたしをまもるために

たくさんのいのちをうばったのよ

「国が殺したのよ、私じゃないわ」

「世界が裁いたのよ、私じゃない」

わたしがおおきくなったら

ぱぱとママみたいに、いっぱいいっぱいころすね。

いっぱい、いーっばいのあい

いっぱい、いーっばいの

どうぶつたちや、にんげんたちを、ころすわ

あいしているもの

おおきくなったら、いっぱいころすわ

あいしているもの

おおきくなるごとに、「競争社会で蹴落としていっぱい苦しませるわ」

いっぱいいっぱいのあい

おおきくなるごとに、「年間3万人自殺させるわ」

わたしのあいには、それだけの「生贄が必要なのよ。」

おおきくなるごとに、「気に入らない奴はイジメで排除するから」

おおきな おおきな ハートの あいのために

たくさんの「人の、ハートを破壊するわ。」

だあいすき（発展途上国の人間共の食料を奪い生きるのって最高）
（お前達だけ苦しめばいいんでしょ、俺達関係ないから）

ねえ、ぱぱ、まま

わたしのこと、あいしてるって、いって。

（そしてもっともっと多くの人を私への愛で殺して）

（もっともっと多くの人を私へのアイのために苦しませてよッ！！）

（もっともっと多くの快楽を頂戴ッ！！）

（もっともっと多くの人間から快楽を奪って私にちょうだいッ！！）

（もっともっと多くの人を私のオモチャにしてッ！！）

（私が人より上なの！私が重要視されるの！）

（私だけがきれいで美しいの！私の心だけは間違っていないッ！）

ねえ、ぱぱ、まま

わたし、おおきくなったら

ぱぱとままみたいに、なるね。

愛

<http://p.booklog.jp/book/26228>

著者：せいうんですよ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/seiundesuyo/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/26228>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/26228>